

教科(科目)	コミュニケーション英語 I	単位数(時数)	4 単位 (148)	学年 (科)	1 学年 (情報科学科)
使用教科書	Genius English Communication I Revised (大修館)				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ Genius English Communication I 学習ノート(大修館) ・ Genius English Communication I 学習用 CD(大修館) ・ 総合英語 be 3rd Edition (いっずな書店・ジーニアス英和辞典(大修館)・IC レコーダー 				

1. 学習目標

- (1)教科書の内容に関して、自分の意見を持てるように、出来事や心情を読み取ることができるようになる。
- (2)教科書の内容に関して ALT の先生、友人が述べることを聞き取り、再現することができるようになる。
- (3)教科書や関連するトピックについて問題解決手段等を、文構成を意識して 100 語以上書くことができるようになる。
- (4)教科書の内容や身近な話題に関して、教師やクラスメートと英語で話し合うことができるようになる。

2. 指導の重点

- (1)テキストの内容や関連するトピックについて、CLIL 型*の学習を行います。
- *CLIL 型学習とは：Content and Language Integrated Learning とされる「内容言語統合型学習」のことです。語学力・思考力・コミュニケーション力を統合して育成する学習方法です。
- (2)授業内では、先生と生徒、生徒同士の英語のやりとりを重視します。
- (3)Can-do List を基にした様々な活動を通して 4 技能の向上を目指します。
- (4)日々の授業と家庭学習をリンクさせ、家でも英語を使う課題を課します。

3. 評価規準と評価方法

評価規準：みなさんの学習状況は、以下の 4 つの観点から評価します。

観 点	内 容
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、クラスメートと意思疎通を図りながら課題に取り組もうとする。
② 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
③ 外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
④ 言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価方法：上記 4 つの観点について、以下の a-f の方法を適宜組み合わせることで評価します。

a	ペア・ワークやグループ・ワークへの参加状況および問いに対する応答状況
b	ワークシートへの記述内容や、ワークブックなどの課題への取り組み状況
c	本文の要約などの発表活動およびプロジェクト活動などの調べ学習への取り組み状況
d	インタビュー・テスト（音読テスト、口頭要約テスト、対話テストなど）
e	小テスト（単元テスト、要約テストなど）
f	定期考査（中間考査、期末考査）・課題考査

4. 学習アドバイス

- (1)授業内での活動は、「答えを見つけるもの」と「答えのない問いに対して意見を交わす」ものに分かれています。後者の問いでは、自分の意見を持たなければ参加できません。日頃から身の周りの物事に対して自分の意見を持つようにしましょう。
- (2)他の生徒の刺激になる取り組みは、学年全体に共有していきます。学習方法等どんどん工夫してください。
- (担当：森田 貴子)

* De: debate Di: discussion E:essay P: presentation S:speech

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）	
4	Lesson 1, Read On 1 (Genius)	20	諸外国の現状	世界の現状を知り、現代社会の問題点とその原因を探る。	Di P
5	Lesson 3	20	教育	世界における教育の重要性について考える。	Di S
6	前期中間考査				
7	Read On 3, Lesson 2, Read On 2	20	日本の伝統文化 (風呂敷, 落語)	世界を変えた若者の思想や行動を学び、自分自身の考えや行動を振り返る。 日本と世界の国々との違いを、様々な側面から考え、自分の意見を述べられるようにする。	P E P Di
8	Lesson 4, Read On 4 課題考査	21	諸外国の自然環境 外国の自然環境	世界の国々と日本の違いを調べ、日本の良さを発表する。	
9	Lesson 8, Read on 8 前期期末考査		各国の水不足の現状	ボルネオ島の環境破壊とその原因について考える。 日本は何が出来るか、ディスカッションする。 開発国、途上国の水不足の現状を知り、その原因は何か話し合いあったり、解決法をリサーチしたりする。	Di E
10	Lesson 9, Read on 9	20	不公平な貿易 貧困問題 南北問題	コーヒーのフェアトレードを切り口に、格差や南北問題について、その現状をしり、原因を探る。 一人の消費者として、何を大切にしていけばいいのか考える。 さまざまな諸問題に対して、日本はどのように関わっていけばいいのか、考える。	De
11	Lesson 10, 後期中間考査	20	戦争、歴史、人種差別	過去の戦争を中心に歴史を学び、その時代背景が現代にどのように表出しているか考える。	E S
12					
1	課題考査 Read On 10	17	偉人の思考や観念	過去の偉人の思考や観念を学ぶ。	E P
2	[後期期末考査]				
3		10	戦争・負の歴史	人類の負の歴史である戦争について学び考える。	

計 148 時間（48 分授業）